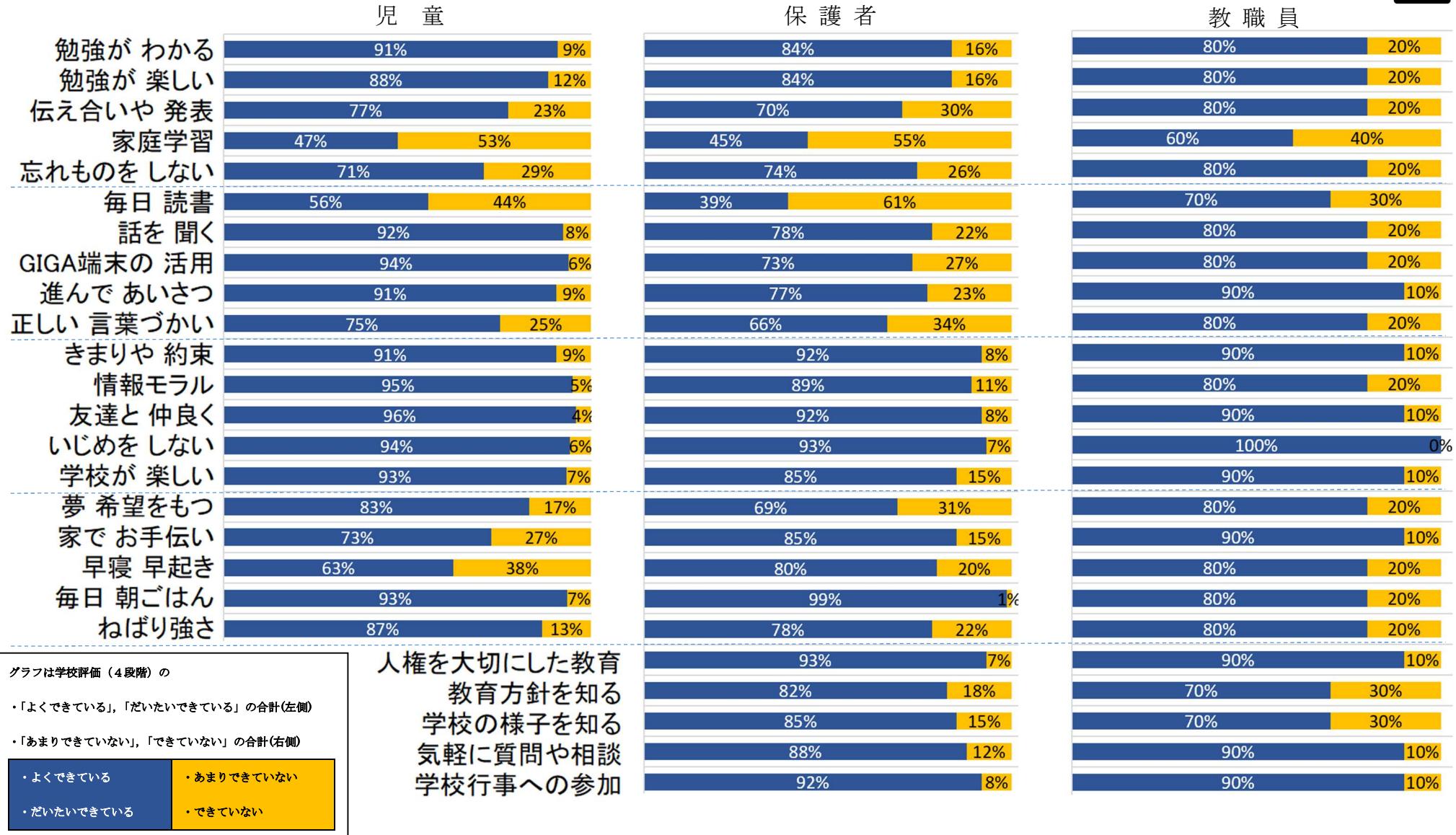


学校だより

令和7年2月25日 特別版
京都市立向島小学校
校長 鎌田 真行



後期学校評価結果の考察



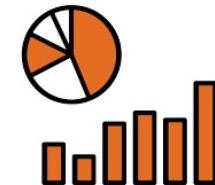
平素は、本校教育にご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、2学期末に回答いただいた「学校評価アンケート（後期）」につきまして、集計と確認が終わりましたので結果をご報告させていただきます。お忙しいところ、多くの方にご回答いただきました。ご協力ありがとうございました。

また、アンケートについての考察を以下のとおりまとめさせていただきました。併せて、ご確認いただきますよう宜しくお願ひ申し上げます。

成果と課題

考 察



肯定的な4つの回答 【きまりや約束】【友達と仲良く】【いじめをしない】【学校が楽しい】

本校が実施するアンケートにて、いつも児童・保護者・教職員の三者で肯定的な回答が多い4つの質問です。今回も、他の質問と比較しても高い水準で肯定的な回答結果となりました。何かトラブルがあっても、子ども同士のつながりで解決したり、保護者の方々や教職員が話を聞いたりすることで、子ども同士が良好な関係を築き、概ね楽しく学校に登校することができているようです。ただ、良いことばかりではなく多感な時期の子どもたちの気持ちや保護者の方の期待に応えられず、ご意見をいただくこともあります。こういったことを反省材料としながら、引き続き子どもたちが安心して楽しく過ごせる学校を目指していきたいと思います。

家庭学習の習慣化 【家庭学習】

『家庭学習』の質問項目で、児童と保護者で「できていない」「あまりできていない」の回答が半数を超えるました。『勉強がわかる』『勉強が楽しい』の質問項目に対して「できている」「大体できている」の回答が多数にもかかわらず、主体的な『家庭学習』につながっていないことも本校の課題と考えています。次年度は、学校職員のみならず保護者の皆様とも思いを共有し、改善に向けて取り組んでいきたいと思います。

子どもの生活リズム 【早寝 早起き】

回答結果の全体的な傾向は、前期（7月）の結果とそれほど大きな変化はありませんでした。しかし、【早寝 早起き】の質問項目が少しづつですが年々悪化していることが気になります。よく、子どもの学力と因果関係のあるものに、「朝食欠食」「睡眠の不規則」「寝る前のスクリーンタイム（画面を見る時間）の長さ」等が挙げられます。この時代に、全く見ないという方法をとるのもご家庭によっては難しいと思うので、まずはデジタル機器の利用時間を予め決め、適切な睡眠時間を確保することが有効な方法となりそうです。